

2021年09月27日

【格付維持】

ウクライナ

外貨建発行体格付： B+ [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

コロナ影響により落ち込んだ経済は回復に向かっている。経済対策などにより拡大した財政赤字は、2021年には前年から縮小する見込みだ。政府債務比率の上昇も小幅にとどまる可能性が大きい。政府は2022年から健全化を進める考えで、基本的に財政は改善に向かうとR&Iはみている。国際通貨基金(IMF)の金融支援の融資実行は遅れているものの、資金調達面には大きな支障は出ていない。政府は引き続きIMFとの協議を続けるとしており、構造改革の進展と支援実行も一定程度期待できる。以上を踏まえて、外貨建発行体格付B+を維持した。

2020年はコロナ感染拡大の打撃を受け、実質国内総生産(GDP)はマイナス4%を記録した。公共投資の加速などを背景に経済は2021年後半には回復へ向かうとみられ、政府と中央銀行は同年の実質GDP成長率をそれぞれ4.1%、3.8%と予測する。他の欧州諸国と比べてワクチン接種の進展が遅れており、感染の再拡大が経済の回復を妨げることがないか注意が必要だ。中長期的には汚職抑制や法規制の順守など、制度面の強化が安定した高い成長実現のカギとなる。

赤字で推移していた経常収支は、2020年は輸入の落ち込みを背景に黒字となった。今後は内需回復などの影響で小幅の赤字に戻る見込みだ。IMFは2021年8月に加盟国に対する特別引き出し権(SDR)の新規配分を実行し、ウクライナは27億ドル強に相当するSDRが配分された。これにより外貨準備高は8月末時点で約316億ドルに増えた。過去9年間で最も高い水準で、輸入の4.4カ月分をカバーする。

2020年の財政赤字は景気悪化と経済対策の影響でGDP比5.2%に拡大した。2021年予算では前年に引き続き社会関連および医療関連分野に資金を重点的に配分している。収入は予算見込みを上回る一方、支出は同見込みを下回っている。政府は公共投資など支出を加速させる考えだが、財政赤字は政府計画の5.5%よりも小さくなる可能性が大きい。政府が中期財政計画で向こう3年間の財政見通しの公表を開始したことは、財政運営の透明性を高めるという観点でプラスとなる。同計画では2024年には赤字を2.7%まで引き下げるとしており、中期計画に沿った財政政策を進めることができるか政府の手腕を見守る。

2020年の政府債務残高はGDP比53.9%に増加した。保証債を含めた残高は60.8%だった。前年からGDP比10%ポイント程度上昇したとはいえ、2016年に記録したピークは下回る。2021年は前年から小幅の上昇にとどまるとみている。IMFと合意したスタンバイ取極に基づく金融支援では最初の21億ドルの支払い以降、融資は実行されていない。SDRの配分もあり政府の外貨繰りへの懸念は小さい一方、信用力評価においては構造改革の進展が条件となっている金融支援の実行が重要だ。政府の改革への取り組みとIMFとの協議の行方を見守る。

【格付対象】

発行者：ウクライナ

名称	格付	格付の方向性
外貨建発行体格付	B+ (維持)	安定的

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	原 一樹
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2021年09月27日
主要な格付方法	ソブリンの格付の考え方 [2021.05.21]

上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。

https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html

評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。

https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html

格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。

<https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html>

格付関係者	ウクライナ
-------	-------

注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。

利用した主要な情報 品質確保のための措置 情報提供者	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。 格付関係者
----------------------------------	--

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。